原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会　電話：０３－５８４２－６０３１　ＦＡＸ：０３－５８４２－６０３３
Ｅメール　antiatom55@hotmail.com　２０１０年６月２８日　No.６　国際会議まであと35日

学生が平和行進に積極参加－新潟・岩手

竹田昭彦さん、鹿又静子さんが通し行進をしている北海道－東京コースでは、新潟県（日本海側）と岩手県（太平洋側）で、学生が平和行進に積極的に参加しています。

▲NY 行動へ参加した「わかもの報告会」新潟市役所

新潟では、26 日の新潟市内行進が新潟大学西門から出発。新大の学生たちが先頭の「リレー横断幕」を持って歩きました。学生たちの中には、原爆投下で出来たキノコ雲の模型を持って歩く人、署名行動をして歩く人もありました。５月の国連へのニューヨーク要請行動にも、学生１人を派遣しています。

午後の出発集会では、ニューヨークの要請行動に参加した「わかもの報告会」がありました。プロジェクトを使ったスクリーンに、国連本部へ向かったニューヨークのパレードや、国連の代表者に署名を届けるシーンなどが映し出されました。市役所の軒下を借りた野外方式で、新しい取り組みが注目されました。

▲到着集会で話す鹿又さんを囲む大学生協学生委員

岩手では、14 日に国民平和大行進が盛岡市に到着。到着集会には 100 人近くが集まり、鹿又静子さんや NPT・NY 行動参加者報告など、例年より盛り上がりました。このコースには毎年、大学生協の学生委員会が参加しており、今年は市内２つの大学生協学生委員会から 12 人が参加しました。

集会後、学生など若い人たちとの交流会が行われ、14 人が参加。鹿又さんから岩手までの行程や通し行進をすることになった経緯を、NPT ニューヨーク行動に参加した岩手県医療局労働組合の五十嵐久美子さんからは写真付きの報告があり、全員の自己紹介と平和活動をはじめた動機や行進の感想交流を行いました。

原水爆禁止2010年世界大会へ各界から賛同

原水爆禁止 2010 年世界大会実行委員会には６月 21 日現在、450 名を超える各界著名人から賛同メッセージが寄せられています。一部を紹介します。（順不同、敬称略）

◆湯川れい子（音楽評論家）　「アメリカもヨーロッパも不況で大変です。こんな時に紛争がおきやすくなるのでしょう。しっかりと足元を見てぐらつかないように、がんばりましょう。とにかく争わないことですね」

◆池辺晋一郎（作曲家）　「真の核廃絶に向けて今こそ日本が世界のリーダーになる時です」

◆大原　穣子（方言指導）　「青年劇場９月公演、堀田清美作『島』の中の原爆の被害者のセリフに　ゆう『誰の上じゃろうと、あがいにむごいものは二度と落としちゃいけん！　罰が当たらずにおろうかい』というのがあります。私は被爆者のこうした声を胸に広島弁指導に取り組んでいます。原爆はいけん！」

最新情報はコチラ→原水協通信 blog｜http://www.antiatom.org/Gpress/
携帯電話からもアクセスできます。